

Cyoda City Photo Studio 写真館



万が一の災害に備えて、 地域防災力を高めましょう

市内全15地区を4つのブロックに分け、行われた行田市防災訓練。11月26日に埼玉・下忍地区の方が訓練に臨みました。

埼玉中学校体育館で行われた応急手当訓練やAED体験に、参加者は積極的な姿勢で臨んでいました。

その後、校庭に訓練場所を移し、初期消火訓練や仮設トイレ組立訓練など6種類の訓練を行いました。これらの訓練に参加したどの地区も、地域の防災力を強化することができたに違いありません。

楽しく、分かりやすく、行田を学ぶ

11月20日、「みらい」文化ホールで、歴史コメンターの金谷俊一郎さんを迎え、行田市観光おもてなしセミナーが行われました。

石田三成の水攻めにも耐えた忍城の秘密や成田長親の人物像など、行田を訪れる人を「おもてなし」するために、知っておきたい歴史的情報が盛りだくさん。金谷さんの身振り手振りを交えた楽しく分かりやすい解説に、観客誰もが引き込まれている様子でした。



手締めの音で大にぎわい

12月6日、愛宕神社周辺で年末の風物詩、行田西の市^{とり}が行われました。

「1年の無事に感謝し、来年の幸せを願おう」と家族やカップルなど多くの方が参拝に訪れました。また、縁起物の熊手を売る露店からは、手締めの音があちこちから聞こえ、にぎわいを見せた祭りとなりました。

「ツレとうつと自分らしく」をテーマに トークショーを開催

11月19日、「みらい」文化ホールでぎょうだ男女共同参画フォーラム2011が開催され、今年秋に映画公開されたコミックエッセイ「ツレがうつになりまして」の原作者である細川^{てんてん} 貂々さんと、ツレさんこと望月昭さんによるトークショーが行われました。

このトークショーでは、映画制作にまつわる話をはじめ、細川さんが夫の「うつ」を漫画にしようと思ったきっかけや望月さん自身の闘病体験、さらには主婦生活の様子など興味深い話を紹介。詰め掛けた大勢の観客は、一つ一つの話題に大きくなずくなどして関心を示していました。



風を切り裂いて

12月4日、行田市総合公園周辺周回コースで学生自転車競技大会の「第6回東京六大学対抗ロード（クリテリウム）大会」と「全日本学生ロードレースカップ 第7戦浮城のまち行田ラウンド」が行われました。

この大会に、関東、関西を中心とした20大学から113人が出場。1周2キロメートルの周回コースに挑んだ選手らは、師走の冷たい風にも負けず、猛スピードで走り抜けていました。



かるたを通して郷土を学ぶ

11月19日、「グリーンアリーナ」サブアリーナで第6回彩の国21世紀郷土かるた行田大会が開催され、市内の小学3年生から6年生までの、46人が参加しました。

大会に備え、埼玉県史の歴史や名所などを勉強してきた子供たち。競技が始まると、読み札を聞き漏らさないよう耳を澄まし、間髪入れずにかるたを取っていました。かるたを通して郷土を学ぶことは、子供たちにとってかけがえのない財産になるでしょう。



たすきをつなぎ元気に疾走

11月27日、行田市総合公園およびその周辺を会場に、第55回“浮き城のまち行田”駅伝競走大会が行われました。

3,090メートルと1,150メートルのコースに分かれ、1チーム5人のメンバーでたすきをつなぐこの大会に、市内外から88チームが参加。チームメートの汗がしみ込んだたすきを受け取った走者は、両脇で見守る観客の声援を受け、少しでも順位を上げようと元気いっぱい駆け出していました。



丹精込めて作った農産物が大人気

12月3日、JAほくさい行田中央支店で、第29回農協まつりが行われました。

当日は、あいにくの雨でしたが、野菜や花卉、ゼリーフライの販売など21団体が出店し、たくさんの来場者が訪れました。

農産物品評会に出品した野菜などを即売するコーナーでは、農家の方が丹精込めて作った農産物を買えるとあって、販売前から行列ができるほどの人気で、会場は大いににぎわいました。

